



ニュース・ダイジェストNAHA



まちくわー
たくさんの笑顔を市場に
第3回 も〜れも〜れチャンブルー祭り

県内の学生が地域活性化のために開催する、「第3回も〜れも〜れチャンブルー祭り」が、牧志公設市場周辺で5月15(土)、16(日)に行われました。
今年は、大好きなまちくわーを笑顔でいっぱいになりたいと女子大生4人が実行委員を務め、祭りを盛り上げました。
参加した15組の団体には、今年流行のペリダンダンス(アラブ地域の踊り)もみられ、最も素晴らしい踊りに贈られる「も〜れ大賞」には、新エッセイ「琉球風車」が選ばれました。

市では、5月中旬に市内4地域で、渡嘉敷村・座間味村との合併の可能性について考える、住民説明会を開催しました。
翁長市長は、慶良間諸島の環境資源について、子どもたちの環境保全学習や、高齢者のゆとりある生活を築く場として活用し、地域のみなさんと交流したいと話しました。
参加者からは、お互いの住民が合併に納得できるように「慶良間諸島が、那覇と合併をしたいと思う資料づくりをしてほしい」などの意見もありました。



市町村合併の住民説明会
慶良間諸島を中心とした合併を考える

元気印のマチグラー 知恵袋の栄町
安里駅でモノレールを下車し、ぶらつと駅周辺を散歩してみました。
周りを見渡すと、駅ができたおかげでしょうか、駅から西側には、ビジネスホテルやマンションが並んでいます。東側を見ると、対照的に「沖繩すばい」のお店が軒を並べ、昔ながらの風景を残す栄町が顔を覗かせています。
今回は、東側から駅を降り、栄町市場に足を運んでみました。
栄町市場は、昔ながらの雰囲気を残すマチグラーで、1、2度しか足を運んだことがない人にとっては、まるで迷路のように交差する路地に惑わされてしまう楽しさもあります。近隣の大切な台所である「栄町」は、地域に移り住んだ人たちが名づけた通称のようです。その名前が今日まで残されているというのは、
栄町市場が今も昔も地域の人々に愛されている証なのではないでしょうか。
栄町商店街振興組合では、数年前から、定期的に「ミニライブ」等のイベントを行い、エコマネー(地域通貨)を利用した社会実験も行なわれるなど、地道に地域の活性化のために取り組んでいます。
栄町市場は、長年、勤めあげた店主との会話から、沖縄の食文化、ハンズオン水前寺菜のおいしい食べ方や、健康法まで教えてくれる、ちょっとした「知恵袋」のような場所でもあります。



ドキュメンタリー映画
友の碑 (いしづみ)
上映
6月19日(土) 14:00 ~
20日(日) 11:00 ~
14:00 ~
場所 ノリット市民劇場
前売 1,000円
(ローンチケット)
当日 1,400円
お問い合わせ
市民平和交流室
☎868-3003

県身体障害者スポーツ大会
出場者募集のお知らせ
日時 9月19日(日)
場所 北谷町総合運動場
募集期間 6月1日(火)~6月11日(金)
参加資格 障害者手帳をお持ちの方
(内部障害を除く)
お問い合わせ
社 那覇市身体障害者福祉協会
☎885-9444 FAX 885-0420
※アーチェリー競技については、8月15日(日) 鏡が丘養護学校にて開催

第29回 **那覇観光キャンペーンレディ募集**
募集期間
6月1日(火) ~
6月30日(水)
申込・お問い合わせ
社団法人 那覇市観光協会
那覇市牧志2-1-4(沖映通り)
☎862-1442



地域に愛されて20年
小禄老人福祉センター記念式典

昭和59年4月に開設された小禄老人福祉センターで、先ほど、20周年記念式典が行なわれ、翁長市長と一緒に記念植樹を行い利用者の踊りやサンシン・大正琴の演奏合唱が舞台を華やかに彩りました。
センター開設以来、約50万人の利用者が健康や教養及びレクリエーション等の講座を学び、老後の明るい生活の営み、生甲斐の見出し等、熱心に通う大変有効な施設として利用者から愛されてきました。



看護の心をみんなの心に
〜ふれあい看護体験〜

5月12日はナイチンゲールの誕生日にちなみ「看護の日」が制定されています。市立病院では、先ごろ「ふれあい看護体験」が行なわれ、中学生や高校生など看護に関心を持つ8名が参加しました。
参加者は、内科、産婦人科など、各病棟に配置され、担当看護師の説明を受けながら、赤ちゃんの世話や入院患者の入浴、リハビリの世話など、医療の現場を体験することで、命の尊さと奉仕する喜びを学びました。

ニュース・ダイジェストNAHA